

下堀遺跡から大隅半島 (岡別府)

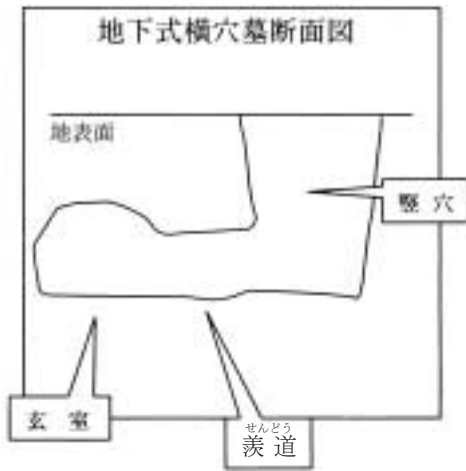
地下式横穴墓について

地下式横穴墓は、地面から竪穴を掘り、約一・五メートル掘り下げた段階で、横穴を掘って遺体を収容する玄室を掘るもので、竪穴・羨道（せんどう）（竪穴から玄室への入り口）・玄室の三構成に分けられます。

宮崎県平野部を中心とする日向灘沿岸部、内陸の霧島山麓周辺、大隅半島南部平野部の三地域にのみ存在している独特の形態を持つ墓だとのこと。

これは、群をなして形成されていて、一般墓という意見もありますが、副葬品の中には豪華なものも出土することがあるため、必ずしも一般墓とは評価できないそうです。

この下堀遺跡での地下式横穴墓は、形状のタイプから六世紀代と考えられているようですが、今回、出土した鉄製品の時期から推測すると、五世紀後半までさかのぼる可能性がでてきたとのこと。



地下式横穴墓 3号（羨道部がふさがれている。）



地下式横穴墓 2号（副葬品が出土した。）

平成15年 春の『心豊かな青少年を育てる運動』

平成15年3月11日から4月10日まで、『育てよう 思いやりのある子に 強い子に』をスローガンに掲げて、『心豊かな青少年を育てる運動』が実施されます。

春は、卒業、入学、進学、就職など、青少年には人生の節目となる貴重な経験をする大切な時期です。

青少年の生活環境が変わり、問題行動が起こりやすいこの時期に、家庭、学校、地域社会及び各種団体が緊密な連携を図りながら、『心豊かな青少年を育てる運動』を積極的に展開することにより、次代の鹿児島を担うたくましい青少年を育成しましょう。

○実践内容

- ・ 青少年の社会参加活動の推進
- ・ 明るい家庭づくりの推進
- ・ 非行防止活動の推進
- ・ 青少年を取りまく社会環境の浄化活動の推進
- ・ 大人(親)が変われば子どもも変わる運動の推進
- ・ いじめ問題の取り組み
- ・ 交通事故防止の推進

